

STOP！米軍・安保・自衛隊

このままでは日本は米軍最大の海外基地に

米軍と自衛隊が一体化、横須賀には原子力空母を配備、在日米軍の活動範囲は中東から太平洋まで拡大、中国を仮想敵に日米でミサイル防衛、有事法制と国民保護法で公務員や民間企業も米軍に協力・・・。小泉内閣のもとで、憲法や自衛隊法、日米安保も飛び越える「平和の規制緩和」がはじまった。止めるのはいまだ!!

日本からアジアに出撃

いま米国は世界規模で米軍基地再編を行っています。欧州では兵力削減が行われますが、アジア太平洋地域では大規模な基地拡大が計画されています。

日米両国政府は05年10月、日本を米軍最大の海外基地にする報告を発表しました。この報告では、中東から太平洋を活動範囲にする、米陸・海・空・海兵4軍を日本に集中するとしています。また在日米軍と自衛隊を、事实上1つの軍隊として運用することも合意したのです。

両国政府はこの報告に基づく具体的な軍移転計画を、06年3月までに完成させるとしています。

新しく来る米軍、 新しくできる基地の例

沖縄県　名護市辺野古沿岸部にヘリ基地
(県民は県外への移設を望んでいた)

神奈川県　座間基地に陸軍第1軍団司令部
(中東から太平洋が作戦区域)

神奈川県　横須賀港に原子力空母
(事故がおきたら最低7万人が死亡)

東京都　横田基地に日米航空戦力の合同司令部

日本海　イージス艦を常駐配備
(日本海の民間港を米軍の準母港に)

訓練　F15戦闘機の訓練をはじめ、米軍の訓練が全国各地にばら撒かれる。

これはホンの一例。

詳細はチラシの裏面を見て！

こんなにある！ 日本政府の米軍支援

思いやり予算・・・2,441億円(駐留経費の75%)
基地従業員の給料、米軍家族の住宅など。
基地の土地代は全てタダ。
日本の総負担は6,000億円以上。
日米地位協定・・・米兵と家族に各種特権。
戦闘機の低空飛行訓練など、危険な訓練も可。
テロ特措法・・・中東の米海軍艦船に、
海上自衛隊がタダで燃料を補給。
イラク特措法・・・イラクの米軍の兵士や物資を
航空自衛隊がタダで輸送。

米軍基地再編反対の声を

米軍再編と日米両軍の一体化は、憲法9条と平和主義をひっくり返す重大な事態です。小泉首相は国会での審議も行わず、一存で決めてしまおうとしています。

国会軽視の先にあるものは、民主主義の破壊です。その道は、教育基本法改悪や憲法改悪へと続くでしょう。

米軍基地のある自治体では、首長や議会が先頭に立って米軍再編に反対しています。

私たちも「在日米軍基地再編反対」「日米軍事同盟反対」の声をあげましょう。

連絡先

在日米軍基地再編の主な中身

沖縄県

1. 普天間基地

辺野古「沿岸部」に新基地建設。

KC130 空中給油機は海上自衛隊鹿屋基地（鹿児島県）へ移転。

国は辺野古沖での基地建設を断念。新計画として、辺野古に隣接するキャンプ・シュワブ海岸線区域と大浦湾にL字型の施設を建設。当初案より強化された基地設計計画。大浦湾は、旧予定地よりもサンゴが豊富。また建設予定地を沿岸部に移動したために集落に近くなり、民間地への危険が増す。

2. 嘉手納基地

米空軍F-15 戦闘機の「訓練の一部」を本土に移転。

移転されるのは部隊ではなく訓練のみ。具体的な飛行回数の削減などは提示されていない。

3. 本島南部基地の返還と、北部への集中化

牧港補給地区・那覇軍港 全面返還、キャンプ瑞慶覧 大半を返還、キャンプ桑江 一部返還。

上記の基地機能を、キャンプ・シュワブとキャンプ・ハンセンなど北部基地に集中。

神奈川県

1. 厚木基地

キティーホーク艦載機 70機のうち 57機を岩国基地に移転。

海上自衛隊岩国基地所属の飛行隊 17機を厚木基地に移転する。

2. キャンプ座間

米陸軍第1軍団司令部を設置。増員約 300 人規模。

陸上自衛隊中央即応集団司令部を設置。増員約 300 人規模。

司令部が併設されることで、日米両陸上戦闘部隊の司令部が一体となる。

3. 相模総合補給廠

陸上自衛隊の普通科連隊規模の部隊を配備。キャンプ座間と一体的に運用する。

横須賀基地

08年に原子力空母を配備

横須賀基地は、米海軍第7艦隊の事実上の母港であり、米海軍保有の空母 12隻のうち、唯一の海外母港としてキティーホークを配備。08年のキティーホーク退役後に原子力空母を配備する。

東京都 横田基地

日米の共同統合運用調整所を設置。

航空自衛隊航空総隊司令部及び関連部隊を移転して配備。

現在は在日米軍司令部と、第5空軍司令部が配備。再編によって、日米両航空戦力の司令部が一体に。防空及びミサイル防衛に関する司令部機能の連携を強化する。

山口県 岩国基地

厚木基地からキティーホーク艦載機のうち 57機が移転。

海上自衛隊機 33機のうち、17機が厚木に移転。

鹿児島県 鹿屋基地

KC130 空中給油機を、普天間基地から、海上自衛隊鹿屋基地（鹿児島県）へ移転。

北海道・千歳基地、福岡県・築城基地、宮崎県・新田原基地、茨城県・百里基地、石川県・小松基地

嘉手納基地のF-15 戦闘機部隊の訓練移転先として、上記の基地の名前が上がっている。